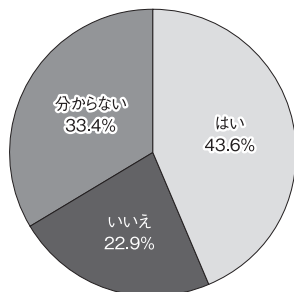


# 奨学金の手続き・情報提供

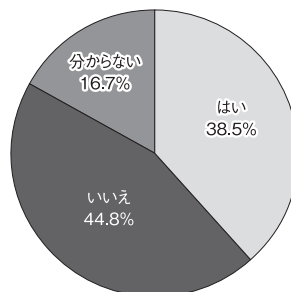
**問23-8** 手続きがややこしい（ややこしそう）【日本学生支援機構の“貸与型”奨学金】

**問24-9** 手続きがややこしい（ややこしそう）【本学独自の“給付型”奨学金】

【問23-8】



【問24-9】



【基数：対象者全員】

## 学部生と比較して、本学独自の“給付型”奨学金に関して、ややこしくないとの回答が大きく上回る

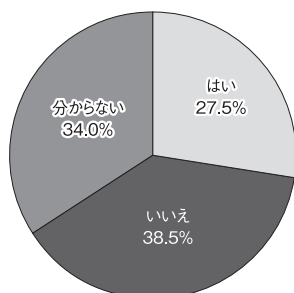
それぞれの奨学金制度において、手続きに関する煩雑さについて調査したところ、「はい」と回答した大学院生は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で43.6%、『本学独自の“給付型”奨学金』で38.5%であったのに対し、「いいえ」と回答した大学院生は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で22.9%、『本学独自の“給付型”奨学金』で44.8%であった。学部生に対する同様の設問において「いいえ」と回答した割合と比較すると、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で10.1ポイント、『本学独自の“給付型”奨学金』で30.8ポイント上回っている。

学部生と比べ、問24-1で『本学独自の“給付型”奨学金』を「受けている」と回答した大学院生は61.8%と、6割を超えており、自分の周りに奨学金を利用している学生も多く、お互い情報共有がなされるため、手続きの煩雑さについては、大学院生の方が学部生よりも「いいえ」と回答した割合が高くなったのかもしれない。

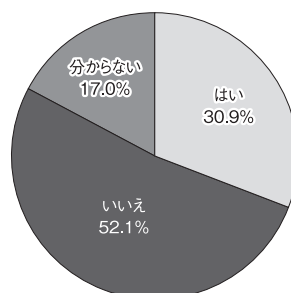
**問23-9** 情報が不十分である【日本学生支援機構の“貸与型”奨学金】

**問24-10** 情報が不十分である【本学独自の“給付型”奨学金】

【問23-9】



【問24-10】



【基数：対象者全員】

## 本学独自の“給付型”奨学金に関して、半数以上が情報が不十分ではないと回答

それぞれの奨学金制度に関して、情報が不十分と感じているか調査したところ、「いいえ」と回答した大学院生は、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で38.5%、『本学独自の“給付型”奨学金』で52.1%であった。学部生に対する同様の設問において「いいえ」と回答した割合と比較すると、『日本学生支援機構の“貸与型”奨学金』で13.8ポイント、『本学独自の“給付型”奨学金』で36.9ポイント上回っている。

大学院生については61.8%が『本学独自の“給付型”奨学金』を「受けている」と回答していることや、77.6%が『本学独自の“給付型”奨学金』の制度を「知っている」と回答していることもあってか、半数以上が“情報”については“充分”と捉えているようである。とはいえ、各種奨学金制度に関する情報提供については、今後もより一層、心掛けていく必要があると考える。